

生活期リハビリテーションの訓練コードの標準化に向けたデルファイ調査 第 2 回調査結果とコメントに対する回答

2024 年 3 月 24 日

デルファイ調査の概要

デルファイ調査とは、疾患別ガイドラインの作成の際によく用いられてる方法で、答えが出にくい問題に対して、専門家の意見を集約することで一定の見解を明らかにする方法です。今回、RAND/UCLA の適切性調査の方法に基づいて 15 名のエキスパートの先生方からリハビリテーションの訓練コードに関する適切性について回答をいただき、第 2 回目の調査結果を集計しました。

適切性と合意の基準

本調査では、RAND/UCLA Appropriateness Method に基づいて、15 名のエキスパートパネルの回答の中央値が 7~9 の場合を「適切」、中央値のある 3 分位以外の回答数（外れ値）が 4 以下を「合意」、5 以上を「不合意」としました。

なお、赤字は回答が「1~3」、青字は回答が「4~6」のコメントを示します。

第 2 回調査結果

回収率：15 名/15 名（100%）

大項目・中項目のすべての項目において「適切かつ合意」に至りましたが、いただいたコメントに基づいてワーキンググループで検討し、文言の微調整を図りました。

大項目について

01. 運動療法：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	4	9	9	0

コメント

・なし

02. 基本動作訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	5	8	9	0

コメント

・なし

03. 歩行訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	4	9	9	0

コメント

・なし

04. ADL 訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	4	9	9	0

コメント

なし

05. IADL 訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	4	9	9	0

コメント

なし

06. 高次脳機能訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	5	1	9	9	0

コメント

なし

07. 言語聴覚訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	4	5	6	8	0

コメント

なし

08. 摂食嚥下訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	4	9	9	0

コメント

なし

09. 物理療法：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	3	9	9	0

コメント

なし

10. 調整・支援：適切かつ合意⇒ 10. 環境調整・支援

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	1	4	6	4	8	1

コメント

・何に対する調整・支援なのか不明瞭な印象を受ける。もう少し言葉を足した方がわかりやすいのではないか。

コメントに対する回答

日本リハビリテーション医学会の用語集および総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキストコアテキストに合わせて分かりやすく用語である「環境調整」に修正しました。

大項目全般について

なし

中項目について

011. 関節可動域訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	5	9	9	0

コメント

なし

012. 筋力増強訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	5	9	9	0

コメント

なし

013. 持久力（心肺機能）訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	5	7	8	0

コメント

なし

14. バランス訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	4	9	9	0

コメント

なし

15. 上肢機能訓練（協調性訓練・巧緻動作訓練を含む）：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	4	10	9	0

コメント

なし

019. その他の運動療法：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	5	8	9	0

コメント

なし

021. 寝返り訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	7	7	8	0

コメント

なし

022. 起き上がり訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	7	7	8	0

コメント

なし

023. 座位保持訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	7	7	8	0

コメント

なし

024. 立ち上がり訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	7	7	8	0

コメント

なし

35. 立位保持訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	7	7	8	0

コメント

なし

029. その他の基本動作訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	4	8	9	0

コメント

なし

031. 歩行訓練（平地）：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	5	9	9	0

コメント

なし

032. 応用歩行訓練（段差・坂道・屋外を含む）：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	1	0	1	5	8	9	1

コメント

・下にある階段訓練を32番にした方が良いと思います。

バーセル指数を参考にしています

コメントに対する回答

ワーキンググループで検討しました。ご指摘いただいたように階段昇降訓練については、班会議やワーキンググループにおいても議論があったところです。今回、生活期リハビリテーションの訓練コードを想定しているため、ADL訓練の範囲をBarhtel Indexの項目を参考に設定しておりますので、階段昇降訓練はADL訓練の中項目としました。

訓練内容の範囲や詳細については、手引きを作成する際に分かりやすく示したいと考えております。

039. その他の歩行訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	4	8	9	0

コメント

なし

041. 食事訓練：適切かつ合意 ⇒食事動作訓練

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	1	1	0	0	3	5	5	8	2

コメント

- ・「食事」に含まれる行為が幅広いため、ここでは「食事動作訓練」としてはどうでしょうか。
- ・辞書には「食事」の意味を「生命維持のために食べ物を摂取すること、またはその食べ物のこと」とありました。となると、「食事訓練」は嚥下訓練の意味合いになるのではないのでしょうか。ですが、ADL 訓練の下位項目であれば妥当なのではないでしょうか。
- ・やはり食事動作訓練の方が一般的だと感じる

コメントに対する回答

ADL 訓練の中項目については Barthel Index を参考に作成していたため、「食事訓練」としていました。コメントいただいたように、ワーキンググループで検討した結果、摂食嚥下訓練との違いを分かりやすく表現するため、「食事動作訓練」に修正しました。

042. 移乗訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	1	1	5	8	9	1

コメント

- ・ADL 訓練よりも基本動作訓練の方がマッチするような気がします。

コメントに対する回答

ワーキンググループで移乗訓練の範囲について検討しました。今回、ADL の範囲を Barthel Index を参考に作成しているため、移乗訓練を ADL 訓練に位置付けていました。また、移乗訓練は単に立ち上がり、方向転換を行うといった基本動作だけではなく、ブレーキやフット

サポートの操作，車いすやベッドの位置の調整など準備までを含めることを想定しているため，基本動作ではなく ADL 訓練に含めることとなりました．移乗訓練の範囲や内容については手引きを作成する際にわかりやすく説明する予定です．

043. 整容訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	5	9	9	0

コメント

なし

044. トイレ動作訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	5	9	9	0

コメント

なし

045. 入浴訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	5	8	9	0

コメント

なし

046. 階段昇降訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	1	1	0	5	8	9	2

コメント

- ・階段昇降訓練は米国の **Physical therapy** のテキストブックで歩行と同じ扱いでできています．3 2 番へ動かした方が良いと思います．
- ・ADL 訓練よりも応用歩行訓練の方がマッチするような気がします．

コメントに対する回答

コメントに基づいてワーキンググループで繰り返し検討しました．これまでの班会議やワー

キンググループでも議論があった内容です。ADL 訓練の項目を **Barthel Index** を参考に設定しているため、階段昇降訓練は ADL 訓練に含めておりました。また、階段昇降訓練は運動耐容能の向上や筋力増強を目的とした運動療法としての訓練ではなく、生活レベルの訓練を想定しているため、ADL 訓練の中項目としております。

階段昇降訓練の範囲や内容については手引きを作成する際に分かりやすく説明する予定です。

047. 更衣訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	1	0	5	9	9	1

コメント

- ・上衣と下衣で分けた方が良いかどうかご検討下さい。

コメントに対する回答

ワーキンググループで検討しました。上衣と下衣で分けることについては、小項目を検討する際に参考とさせていただきます。

049. その他の ADL 訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	4	8	9	0

コメント

なし

051. 調理訓練：適切かつ合意 ⇒調理訓練（準備・片づけを含む）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	1	0	2	3	9	9	1

コメント

- ・食事の準備から片づけまで含めるのであれば、その旨を明記してはどうか。

コメントに対する回答

調理訓練（準備・片づけを含む）と修正しました。

052. 洗濯訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	6	7	8	0

コメント

なし

053. 掃除訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	6	7	8	0

コメント

なし

054. 買い物訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	5	8	9	0

コメント

なし

055. 外出訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	1	3	4	7	8	1

コメント

- ・通常、外出は目的があつてするものなので、外出訓練とは何を指すのかが不明瞭な印象を受けました。
- ・屋外歩行練習と何が違うのか明記が必要。(目的の有無や距離・範囲など)

コメントに対する回答

ご指摘いただいた通り、「外出」自体が目的を含めた用語と認識しています。今回、IADL訓練は Frenchay Activities Index の項目を参考としております。外出訓練については、屋外歩行や交通手段の利用を除く外出を想定しています。外出訓練の定義や内容については手引きを作成する際に分かりやすく説明する予定です。

056. 余暇活動のための訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	6	6	8	0

コメント

- ・「訓練」に違和感がある

コメントに対する回答

他の中項目との整合性を考慮して「訓練」とさせていただいています。内容については、手引きを作成する際に分かりやすく説明する予定です。

057. 交通手段利用のための訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	4	8	9	0

コメント

- ・「～ための訓練」となると、シミュレーションも含まれるのか。

コメントに対する回答

シミュレーションも含まれる想定です。手引きを作成する際に訓練の範囲や内容について分かりやすく説明する予定です。

058. 就労のための訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	4	8	9	0

コメント

- ・通勤は、056 や 057 に該当するのか。
⇒そちらの範囲です。手引きで説明

コメントに対する回答

ご指摘の通り、通勤だけを想定する場合は 056 や 057 に該当します。

059. その他の IADL 訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	5	8	9	0

コメント

なし

061. 見当識訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	1	0	3	4	7	8	1

コメント

・内容がイメージできません。

コメントに対する回答

例：時計やカレンダーを設置して見当識を確認したり，屋外に出て日光を浴びて時刻を確認したりすることで見当識を改善することを目的とした訓練を想定しています。

訓練内容については手引きで説明する予定です。

52. 注意訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	4	5	6	8	0

コメント

なし

063. 記憶訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	6	6	8	0

コメント

なし

064. 視空間認知訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	5	4	6	8	0

コメント

なし

065. 遂行機能訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	1	4	2	8	9	1

コメント

- ・遂行訓練では？他の用語に合わせるのであれば。

コメントに対する回答

おっしゃる通りです。用語の統一についてはワーキンググループでも議論になっており、再度検討させていただきました。議論を重ねた上で分かりやすさを優先して「遂行機能訓練」とさせていただきます。

069. その他の高次脳機能訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	4	3	8	9	0

コメント

なし

071. 失語症に対する訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	1	0	1	0	1	6	6	8	2

コメント

- ・大項目 07. 言語聴覚訓練と「機能訓練」を修正いただきました。そのため、ここは「言語機能訓練」とし、訓練内容を明確に示すことがよろしいと思います。前回のご意見を踏まえつつ、失語症以外の言語機能訓練を加味し、(失語症、その他)と入れるとイメージしやすいと思いますのでご検討ください。
- ・言語理解、発語、読字、書字、等もう少し分けてはいかがですか。以下同。

コメントに対する回答

コメントに基づいてワーキンググループで検討いたしました。言語機能訓練(失語症、その他)とした場合、079. その他の言語聴覚訓練がありますので、失語症以外はそちらに該当することが想定されます。

言語理解、発語、読字、書字、等については訓練コードの小項目を検討する際の参考にさ

させていただきます。

いただいたコメントについては、手引きを作成する際に参考にさせていただきます。

072. 構音訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	6	8	9	0

コメント

- ・なし

073. 音声訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	1	1	0	3	5	5	8	2

コメント

- ・前回の意見にある「発声訓練」とすると、一般的でわかりやすいかと思います。「歌唱」を用いるプログラムもここに含めることができると思います。
- ・「コアテキストを参考」とのことだと思いますが、やはり実際に入力するであろう PT、OT には、「音声訓練」、「構音訓練」、「聴覚訓練」は解説無しでは分別できないと思います。
- ・構音訓練と音声訓練の違いがよくわかりませんでした。

コメントに対する回答

ワーキンググループで検討させていただきました。今回、日本リハビリテーション医学会の用語集とコアテキストに準じて「音声訓練」としました。訓練内容については手引きでわかりやすく説明する予定ですので頂いたご意見を参考にさせていただきます。

074. 聴覚訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	1	3	6	5	8	1

コメント

- ・難聴のある利用者に対する支援を広く指す内容を考えてよいでしょうか。補聴器、集音器の調整を含めるのであれば、（聴覚保障）を入れると代替手段を含めることがわかると思います。

コメントに対する回答

手引きを作成する際に、聴覚訓練において「代償手段を含める」ことを分かりやすく説明させていただきます。

079. その他の言語聴覚訓練：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	2	5	8	9	0

コメント

なし

081. 摂食嚥下訓練（直性訓練）：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	6	8	9	0

コメント

なし

082. 摂食嚥下訓練（間接訓練）：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	1	5	9	9	0

コメント

なし

091. 温熱療法：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	2	10	9	0

コメント

なし

092. 寒冷療法：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	2	10	9	0

コメント

なし

093. 磁気刺激療法：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	4	2	9	9	0

コメント

なし

094. 電気刺激療法：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	4	2	9	9	0

コメント

なし

095. 振動刺激療法：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	5	1	9	9	0

コメント

なし

099. その他の物理療法：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	4	3	8	9	0

コメント

なし

101. 家屋評価・調整：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	3	4	8	9	0

コメント

なし

102. 福祉用具・自助具の活用：適切かつ合意⇒福祉用具・自助具の評価・選定

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	1	0	3	4	7	8	1

コメント

・これは「訓練」でしょうか。または、「評価・選定」ですか、分かりにくいと感じました。

コメントに対する回答

ワーキンググループで検討させていただきました。分かりやすくするため、本項目は「評価・選定」とし、実際に福祉用具や自助具を用いた訓練についてはADL訓練やIADL訓練として扱うことを想定しています。手引きを作成する際に分かりやすく説明するようにします。

103. 家族指導：適切かつ合意 ⇒家族・介護者への指導

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	1	2	3	9	9	1

コメント

他職種への助言等は含まれますか。

コメントに対する回答

他職種等への助言も含めるため、「家族・介護者への指導」に修正しました。内容や範囲についてはは手引きで説明する予定です。

104. 支援制度の相談：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	4	2	9	9	0

コメント

なし

109. その他の調整・支援：適切かつ合意

1	2	3	4	5	6	7	8	9	中央値	外れ値
0	0	0	0	0	0	4	4	7	8	0

コメント

なし

中項目の訓練コードについて

- ・全般です。「その他」に関して、7の評価を入れています(今回修正の必要はありません)。
- ・前回も記載しましたが、その他の項目を入れると安易に「その他」に分類される恐れがあります。
- ・この分類開始後一定期間後、問題がないかチェックしておいたほうがよいかと思います。

訓練コードの全体の構成など、全般的な内容に関する意見

- ・再度記載します。全般です。「その他」に関して、7の評価を入れています(今回修正の必要はありません)。
- ・前回も記載しましたが、その他の項目を入れると安易に「その他」に分類される恐れがあります。
- ・この分類開始後一定期間後、問題がないかチェックしておいたほうがよいかと思います。
- ・前回と比較すると、かなり分かりやすくなったと感じました。
- ・頑張ってください。